

認定NPO法人 日野・市民自治研究所

2025年度 憲法リレー講座

第1回 5月10日(土) 講師はオンラインです
(この回のみ13:30~15:30)

ケアの倫理から民主主義と平和を問い返す

講師: **岡野八代**(同志社大学大学院グローバル・スタディー
ズ研究科教授 専門:政治思想、フェミニズム理論)

人間は誰もケアし、ケアされる存在。これまで私的領域に押し込められてきたケアという、人間の根本にある営みから平等を解き明かし、民主主義を再生する力とし、閉塞状態の政治や危機にある平和を問い返す。



第2回 7月12日(土) 講師はオンラインです

裏金事件と議会制民主主義

講師: **上脇博之**(神戸学院大学法学部教授
専門:憲法学、国民代表論、政治資金問題)

自民党の派閥の裏金に続いて都議会自民党の裏金も発覚し、東京地検は関係者の一部を起訴しました。議会制民主主義について研究してきた私が、なぜ裏金事件を刑事告発するのか、お話し致します。



第3回 9月13日(土) 講師はオンラインです

**継続する大日本帝国と「中国への戦争態勢」
ー東アジアでの戦争を止めるためにー**

講師: **高井弘之**(「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネット
ワーク」共同代表)

「戦争」も「武力による威嚇」も否定し、「戦力を保持しない」と宣言した日本国憲法のもと、「戦後80年」を迎えます。しかし、この国は新たな戦争体制づくりを急スピードで行っています。つながり、連帯し、市民の共同の力で「国家による戦争」を止めましょう。



第4回 11月8日(土) 講師はオンラインか会場

韓国の戒厳事態と日本への示唆

講師: **李 京柱**(韓国・仁荷大学法科大学院教授
専門:憲法学)

韓国で起きた戒厳事態は民主主義と立憲主義のためになるのか、国民の抵抗、国会議員の素早い解除決議、憲法裁判所による罷免の経過などを、憲法と民主主義の観点から読み直しながら、日本への示唆点を考えてみる。



第5回 2026年1月17日(土)

対米従属国家からの解放

ーフィリピンの経験から学ぶ

講師: **稲 正樹**(元国際基督教大学教授
専門:憲法学、アジア比較憲法論、平和研究)

フィリピンは、1987年憲法の制定、1991年の比米友好協力安保条約の批准拒否によって、1992年に米軍基地を撤去しました。2014年の防衛協力強化協定の締結の揺り戻しがあるとはいえ、「駐留なき安保」を実現したフィリピンの実例を検討します。



第6回 3月14日(土)

平和憲法の確保と新生を求めて

講師: **稲 正樹**(元国際基督教大学教授)

安保法制から10年目、敗戦から80年目にあたって、「包括的な平和政策パッケージのコア」である憲法9条に基づいて、戦争克服・平和創造のアジェンダを提示し、近代主権国家システムを超えた世界秩序のあり方を展望したいと思います。